

令和 6 年 度 事 業 報 告 書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日

(令和 7 年 5 月 2 7 日)

学 校 法 人 静 岡 自 動 車 学 園

令和6年度事業報告

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

1. 法人の概要（令和7年3月31日現在）

学校法人静岡自動車学園は、県内自動車業界の先駆者によって昭和15年に静岡県自動車学校を開校、また昭和31年には自動車整備士育成のための各種学校を設立し、現在の専門学校静岡工科自動車大学校と専門学校浜松工科自動車大学校に受け継がれて、これまでに時代の変遷を経て安全運転者の養成と「技術者の育成をもって地域社会に貢献する」という建学理念の実践の場として即戦力となりえる中堅技術者の育成を行ってまいりました。

創立85年目を迎える学園の歴史にあつて法人分割等幾多の経営課題を乗り越えて今日に至っておりますが、時代の背景としてはモータリゼーションの進展に支えられ全国的にも特色のある教育機関として、地域社会に寄与してきました。

現在において本学園は、少子化、顧客ニーズの多様化等これまでに経験したことがない経営環境の中で、職員全員が次代に向けて掲げる中期経営計画（3ヵ年計画）を具体化し、価値観を共有して、新たな学園の存立基盤を形作っていく時代を迎えています。

学校法人静岡自動車学園は、これまでに培ってきた優れた教育サービスの提供を通じて人に優しい交通社会の実現に貢献してまいります。

（1）沿革

昭和15年	5月31日	静岡県自動車学校設立が静岡県知事より認可される
昭和15年	7月 1日	静岡県自動車学校開校
昭和27年	3月31日	学校法人静岡県自動車学校寄附行為が静岡県知事より認可される
昭和31年	4月 1日	静岡県自動車学校に整備科を開校する（現「専門学校静岡工科自動車大学校」）
昭和35年	12月20日	静岡県自動車学校、同浜松校、同沼津校が指定自動車教習所として静岡県公安委員会指定を受ける
昭和37年	12月13日	法人名を学校法人静岡県自動車学園に改める
昭和38年	4月 1日	静岡県自動車工業高等学校開校
昭和45年	7月 4日	寄附行為一部改正により自動車学校は収益事業に、整備教育部に属する各科は静岡産業技術専門学校に改める
昭和47年	7月 6日	静岡県自動車学校松崎校が指定自動車教習所として静岡県公安委員会指定を受ける
昭和52年	6月 3日	学校法人金指学園（星陵高等学校）との合併が静岡県知事より認可される
昭和55年	4月 1日	静岡県自動車工業高等学校を静岡北高等学校に名称変更
昭和58年	4月 1日	沼津情報専門学校開校
昭和59年	9月 1日	学校法人杉山学園（静岡文化専門学校）との合併が静岡県知事より認可される
昭和60年	4月 1日	浜松情報専門学校開校
平成 2年	7月16日	学校法人静岡自動車学園設立、及び静岡工科専門学校設置が静岡県知事より認可される（法人分割）
平成 3年	4月 1日	静岡工科専門学校開校

平成 7 年 4 月 4 日 静岡工科専門学校実習棟竣工

平成 13 年 1 月 18 日 静岡県自動車学校校舎竣工

平成 16 年 9 月 28 日 静岡工科専門学校が中国浙江省の嘉興職業技術学院と姉妹校提携締結

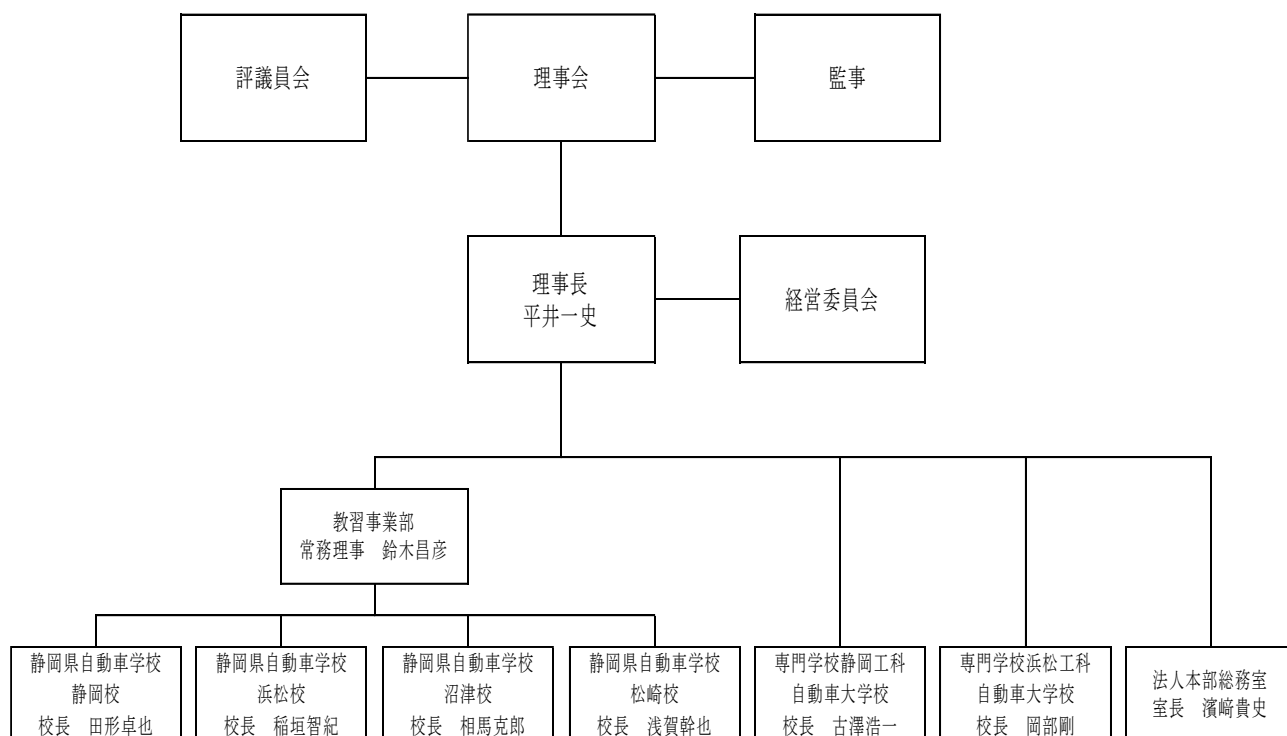
平成 17 年 4 月 1 日 静岡工科専門学校を専門学校静岡工科自動車大学校に名称変更（静岡県知事届出、平成 17 年 3 月 25 日寄附行為変更認可）

平成 19 年 11 月 29 日 静岡県自動車学校浜松校校舎竣工

令和 5 年 3 月 28 日 専門学校浜松工科自動車大学校の新設が県知事より認可される

令和 5 年 4 月 1 日 専門学校浜松工科自動車大学校開校

(2) 組織図（令和 7 年 3 月 31 日現在）



(3) 役員等の概要（令和 7 年 3 月 31 日現在）

役 名	氏 名	常勤・非常勤の別	就 任 年 月
理事長 (兼評議員)	平 井 一 史	常 勤	令和 2 年 6 月理事長就任 平成 28 年 6 月評議員就任
常務理事 (兼評議員)	鈴 木 昌 彦	常 勤	平成 28 年 11 月理事就任 平成 20 年 6 月評議員就任
理 事 (兼評議員)	杉 本 憲 一	非常勤	平成 14 年 6 月理事就任 平成 12 年 7 月評議員就任
理 事 (兼評議員)	渡 辺 芳 郎	非常勤	平成 20 年 6 月理事就任 平成 20 年 6 月評議員就任
理 事 (兼評議員)	守 屋 彦 太	非常勤	令和 6 年 6 月理事就任 令和 5 年 10 月評議員就任
理 事 (兼評議員)	浅 賀 幹 也	常 勤	令和 2 年 6 月理事就任 平成 24 年 6 月評議員就任

理 事	古 澤 浩 一	常 勤	令和 5 年 4 月理事就任
監 事	日下部 育男	非常勤	平成 3 1 年 3 月監事就任
監 事	川 口 隆 司	非常勤	令和 4 年 6 月監事就任
評議員	古 屋 勝 治	非常勤	令和 4 年 5 月評議員就任
評議員	北 島 克 己	非常勤	平成 2 8 年 6 月評議員就任
評議員	田 中 雅 子	非常勤	令和 6 年 6 月評議員就任
評議員	岡 部 剛	常 勤	令和 5 年 4 月評議員就任
評議員	浅 田 研 二	常 勤	令和 5 年 5 月評議員就任
評議員	田 形 卓 也	常 勤	平成 2 7 年 5 月評議員就任
評議員	濱 崎 貴 史	常 勤	平成 2 8 年 6 月評議員就任
評議員	相 馬 克 郎	常 勤	令和 2 年 6 月評議員就任
評議員	稲 垣 智 紀	常 勤	令和 2 年 6 月評議員就任

(4) 設置する学校・学科等（令和 6 年 5 月 1 日現在）

専門学校静岡工科自動車大学校（静岡市葵区宮前町 5 2 番地の 1）

課 程 名	学 科 名	昼夜別	修業年限	学則定員
専門課程 (工業分野)	自動車システム工学科	昼	4 年	3 2 0 名
	自動車整備科	昼	2 年	8 0 名
	国際オートメカニク科	昼	3 年	1 4 0 名
	ボディエンジニア専攻科	昼	1 年	2 0 名
	開発エンジニア専攻科	昼	2 年	3 0 名

専門学校浜松工科自動車大学校（浜松市中央区寺島町 2 8 5 番地の 2 4）

課 程 名	学 科 名	昼夜別	修業年限	学則定員
専門課程 (工業分野)	自動車システム工学科	昼	4 年	1 6 0 名
	自動車整備科	昼	2 年	5 0 名
	国際オートメカニク科	昼	3 年	7 5 名

(5) 収益事業の名称及び住所

静岡県自動車学校静岡校	静岡市葵区宮前町7-1番地の1
静岡県自動車学校浜松校	浜松市中央区和地山2丁目38番1号
静岡県自動車学校沼津校	沼津市東椎路4-19番地の1
静岡県自動車学校松崎校	賀茂郡松崎町岩科南側17番地

(6) 静岡工科自動車大学校在籍者数推移（令和6年5月1日現在）

学 科 名	修業 年限	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
自動車システム工学科	4年	198	288	299	257	247
自動車整備科	2年	147	102	104	86	69
国際オートメカニク科	3年	134	170	167	122	143
ボディエンジニア専攻科	1年	—	—	—	16	12
開発エンジニア専攻科	2年	—	—	—	—	—
ハイエンジニア研究科	2年	4	—	—	—	—
合 計		483	560	570	481	471
学則定員		550	580	540	570	590

浜松工科自動車大学校在籍者数推移（令和6年5月1日現在）

学 科 名	修業 年限	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
自動車システム工学科	4年	—	—	—	23	49
自動車整備科	2年	—	—	—	24	44
国際オートメカニク科	3年	—	—	—	17	48
合 計		—	—	—	64	141
学則定員		—	—	—	225	285

(7) 職員の状況

① 職員の異動（令和6年4月1日より令和7年3月31日まで）

（単位：人）

区 分	性別	人 員	区 分	性別	人 員
期 首	男	1 7 3 (1 2)	期中退職	男	1 1 (4)
	女	5 2 (2)		女	4 (0)
	計	2 2 5 (1 4)		計	1 5 (4)
期中採用	男	9 (4)	期 末	男	1 7 1 (1 3)
	女	4 (1)		女	5 2 (2)
	計	1 3 (5)		計	2 2 3 (1 5)

（注）表中の（ ）書は嘱託の内数を示します。

② 職員の構成（令和7年3月31日現在）

性別	人 員（人）	平均年齢（歳）
男	1 7 1 (1 3)	4 4 . 9
女	5 2 (2)	3 8 . 1
計	2 2 3 (1 5)	4 3 . 3

（注）表中の（ ）書は嘱託の内数を示します。

2. 事業の概要

今日の学園を取り巻く経営環境は、18歳人口の減少が深刻化する中、経営基盤や事業構造の再構築という課題が生き残りのための必須条件となっている。

静岡工科自動車大学校では、令和4年度を初年度とする第10次中期経営計画において、職業実践専門課程の特性をさらに深化し、「社会のニーズにマッチした高いレベルの専門教育と人間性の育成」を教育理念に掲げ事業展開を行っている。

(1) 事業ビジョン

- ①学生や保護者が「成長」を感じ、「感動」を与えるとともに、全ての関係者（業界、企業、高校、地域）から喜ばれるような、質の高い教育サービスを提供する。
- ②様々な手法により学校教育活動及びその教育成果を地域社会へ周知し、学校の認知度を高めるとともに、安定した募集活動を展開する。
- ③将来の発展に向け、グローバルな視野と柔軟な発想により様々な可能性を模索し、時代の要請に合った新しい教育サービスを提供する。
- ④経費、労務管理等においては、ムリ、ムラ、ムダを取り除いた効率的かつ生産的な学校経営を行う。

(2) 事業目標

①教育の質の向上

- ・専門知識、技術及び社会人教育においては、「何を教えた」のではなく、「何ができる（わかる）ようになる」を実践し、創意工夫による質の高い教育を展開する。
- ・産学連携を推進し、社会ニーズに合った教育内容（教育カリキュラム、教材、機器、施設設備）に改善する。
- ・研修及び授業研究などにより、教職員のスキル（知識、技術、指導力）向上に努めるとともに、産学連携による外部講師の活用を積極的に推進する。
- ・資格取得率及び就職率の他、様々な教育活動において高い教育成果を達成する。

②戦略的な募集活動の推進

- ・安定した募集活動を展開するため、企業奨学制度や高専一貫教育など生徒、保護者及び高校、企業、地域と共に喜ぶ活動を推進する。
- ・効率的かつ効果的な広報ツールの活用により、学校教育活動を広く周知し、認知度の向上を図るとともに、学内イベントへの誘導を強化する。
- ・学校のブランド化を推進し、PDCAのマネジメントサイクルによる「選ばれる学校ブランド」を確立する。

③新しい教育サービスの企画・立案

- ・生涯教育やリカレント教育など、現在の経営資源を活用した講座の開設について検討する。
- ・「いつでも」、「どこでも」、「誰にでも」提供することができる新たな教育サービスの企画・開発を行う。

④学校経営の健全化を推進

- ・PDCAのマネジメントサイクルの確実な実行により「ムリ、ムラ、ムダ」を取り除いた効率的かつ生産的な学校経営を行う。
- ・複数校運営を見据えた人材育成（教員、幹部職員）を推進し、「選ばれる学校ブランド」を確立する。
- ・学校業務を体系的に整理し、システム化、マニュアル化を推進することにより、業務の効率化を図る。

令和6年度は、浜松工科の開校2年目で、定員充足とはならなかったものの83名の入学生を迎え、期首人数2学年合計141名と順調なスタートを切った。静岡工科では常勤職員の不足をディーラーメカニックによる講師採用により補い、学生にとっても有用、募集活動においても強みとして活用、職員に負担感の解消にも貢献し先進的な取組みを実施した。静岡も定員充足には至らなかったが、コロナにより減少していた留学生数が増加となり、今期の卒業生については二級整備士全員合格、一級整備士も1名を除き全員合格で、教育の質においては、これまでのリモート授業も含めたノウハウを生かしつつ、社会に貢献できる良質な卒業生の輩出を継続している。なお、収益事業部門からの寄附操出し額は1億5千万円で今年度目標額1億円を達成している。

(1) 理事会・評議員会等の開催状況

開催日及び場所	主 要 議 題
令和6年5月20日 法人本部総務室4階会議室 監 事 監 査	1. 令和5年度決算監査
令和6年5月28日 中島屋グランドホテル 理事会・評議員会	1. 令和5年度事業報告について 2. 令和5年度決算報告について 3. 学園隣接地の購入について 4. 静岡校普通AT教習車の購入について 5. 役員等（理事・監事・評議員）の改選について 6. 理事長職務代理者の指名について
令和6年6月1日 法人本部総務室 理 事 会	1. 役員等（理事・監事・評議員）の改選について 2. 理事長職務代理者の指名について その他当面の問題について
令和6年7月5日 法人本部総務室4階会議室 理 事 会	1. 理事退任に伴う退職慰労金の贈呈について 2. 私立学校法改正に係る寄附行為改正の概要について その他当面の問題について
令和6年10月25日 グランディエールブクトーカイ 理事会・評議員会	1. 令和6年度補正事業計画について 2. 令和6年度補正予算について 3. 寄付行為の改正について 4. 静岡工科駐輪場用地及び建物購入について 5. 静岡校本館雨漏り改修工事の追加執行について 6. 常勤役員報酬内規の改正について その他当面の問題について
令和6年12月6日 三笑亭本店会議室 理 事 会	1. 学園の近況について 2. 学園資産（その他引当特定資産）の委託運用状況について その他当面の問題について
令和7年2月20日 グランディエールブクトーカイ 理事会・評議員会	1. 令和6年度補正事業計画について 2. 令和6年度補正予算について 3. 令和7年度事業計画について 4. 令和7年度当初予算について 5. 専門学校静岡工科自動車大学校学則の一部変更について 6. 専門学校浜松工科自動車大学校学則の一部変更について 7. 静岡県自動車学校浜松校校舎外部補修工事について 8. 役員賠償責任保険の加入について 9. 役員等候補者推薦委員の指名について その他当面の問題について

また、理事会・評議員会の他に、経営委員会を年12回（月1回）開催し、学園の経営方針及び運営基準等について協議している。

(2) 事業計画に係る設備投資等の状況

令和6年度の設備投資等の額は、静岡工科自動車大学校では 87,244 千円であり、主として No.7 駐輪場用地及び建物購入事業であります。浜松工科自動車大学校では 6,033 千円であり、主として No.1 学校施設整備事業であります。

【静岡工科自動車大学校】

(金額単位：円)

No.	事業名	品名	数量	金額	取得日
静岡工科1	教育教材整備事業①	汎用自己診断機 7台 マイクロ・メーターセット 6台 バッテリーパルスチャージャー 6台 コムス バッテリー 2台 トルクコンバータ 1台 計	7 6 6 2 1	1,205,050 483,900 277,200 184,800 268,400 2,419,350	7/23
静岡工科2	教育教材整備事業②	ベンチエンジン 6台 B科修復教材車両 新技術車両 計	6 1 1 1	14,960,000 1,097,220 197,250 1,150,000 17,404,470	10/25 3/12 9/2 2/21
静岡工科3	教育教材整備事業③	タイヤリフター 6台 ホイールドリリー 3台 フロンガス回収機 1台 ゲージマニホールド 2台 計	6 3 1 2	2,288,000 468,600 1,237,500 161,700 4,155,800	7/29 7/20
静岡工科4	什器備品更新事業	複合機 3台 輪転機 1台 計	3 1	2,981,000 869,000 3,850,000	5/24 4/23
静岡工科5	施設設備修繕事業①	A棟1階トイレ改修工事 一式	一式	11,880,000	9/30
静岡工科6	本部直轄事業	キュービクルの更新(工科資金負担分)	一式	11,297,000	1/4
静岡工科7	駐輪場用地及び建物購入事業	静岡工科駐輪場用地	一式	27,792,000	12/19
静岡工科8	施設設備修繕事業②	C棟3階雨漏対応工事 C棟西側外階段修繕 C棟給水ポンプユニット 学生寮303号室 計	一式 一式 一式 一式	1,067,000 363,000 429,000 482,900 2,341,900	10/12 10/12 11/18 8/29
静岡工科9	駐車場整備事業	学生駐輪場を職員駐車場に改築	一式	1,188,000	3/17
静岡工科10	ネットワーク機器更新事業	HUB 3台	3	397,100	12/20
静岡工科11	学生寮設備更新事業	エアコン 1台 給湯器 1台 計	1 1	244,200 288,000 532,200	10/31 11/21
静岡工科12	教育教材購入事業③	ゴーカート 8台	8	3,986,400	2/17
静岡工科合計				87,244,220	

【浜松工科自動車大学校】

No.	事 業 名	品 名	数量	金額	取得日
浜松工科 1	学校施設整備事業	学科教室机 3 0 台、椅子 9 0 脚	120	1,534,500	4/23
		実習場作業台 1 8 台	18	1,079,650	4/2
		計		2,614,150	
浜松工科 2	教育教材整備事業	自動車整備教育セット（模型）一式	一式	1,155,000	7/12
浜松工科 3	什器備品購入事業①	職員用パソコン 4 台	4	979,000	4/2
浜松工科 4	什器備品購入事業②	机イス 4 セット	一式	192,720	11/1
浜松工科 5	教育教材整備事業②	I T S 用 ミリ波レーダーセット	1	963,600	2/20
		ダイハツ用エーミングターゲットセット	1	129,360	
		計		1,092,960	
	浜松工科合計			6,033,830	

（３）設備、投下資本の状況

令和7年3月31日現在における設備、投下資本は次のとおりであります。

【静岡工科自動車大学校・浜松工科自動車大学校】

事業所名	土地		建物		構築物 (円)	教育研究用機 器備品 (円)	その他の 機器備品 (円)	車両 (円)	投下資本合計 (円)
	面積(㎡)	金額(円)	面積(㎡)	金額(円)					
静岡工科	9,662.26	525,737,967	9,508.15	438,731,382	1,510,017	100,210,275	3,974,935	7,112,040	1,077,276,616
浜松工科	2,644.00	240,139,508	2,502.68	786,389,959	59,573,055	77,041,056	3,013,374	1,080,001	1,167,236,953

（注1）投下資本は有形固定資産の帳簿価格で示し、図書は含んでおりません。

（４）経営状況分析等

①経営状況の分析

本業の状況を表す教育活動収支では、令和6年度の学生数は静岡、浜松合計で612名であり、学生生徒等納付金収入は6億1千万円となっている。教育活動収支差額は、静岡が80百万円、浜松が▲35百万円で、在籍者数の増減によって、静岡は若干の減少、浜松は増加となっている。教育活動外収支は、これまで同様に有価証券等の受け取り利息と収益事業からの寄附金である。特別収支で、収入は静岡浜松両校における現物寄付と補助金、支出は施設の処分損である。これらの結果、基本金組入前当年度収支差額は2億7千2百万円を計上し、昨年度比で3千4百万円増加した。

②経営上の成果と課題

主要なターゲットである18歳人口が減少するなかで、専門学校における学生獲得競争は厳しさを増しており、留学生についても全国的な競争環境となるなど、これまでの延長線上に留まらない活動や思考が必要となっている。一方で、一級をはじめとする自動車整備士の社会的ニーズはまだまだ非常に高く、当学園における就職内定率はほぼ100%を継続しており、就職先から学園への人的、物的支援は他に類を見ない大きな強みといえる。また、今年度は浜松工科初の卒業生を輩出し、県西部地区における同校への期待も少なからずある。活動としては、主要ターゲット層に留まらない

現在の一級動画サービスなど新たな層獲得のための活動、社会人教育への進出なども検討が必要となるが、最も重要であることは質の高い教育の継続、在校生および卒業生の満足こそが、社会への還元と相まって学生の集まる学校であり続けられるものと認識している。

③今後の方針・対応策

第11次中期経営計画に掲げる、教育の質の向上、戦略的な募集活動の推進、新しい教育サービスの企画立案に取り組む。これらのためには、様々な機会に強みを生かすためこれまでに培った強みが何かを今一度精査し、機会に敏感となってロスをしない組織とすること、また弱みを顕在化させないためにそれを認識したうえで、自ら解決することが困難であれば他企業との協力も視野に入れ解消するなど、自らの組織を良く知り客観的な視点をもった組織となることで、掲げる活動を効果的に推進する。

3. 財務の概要（過去5年間の状況）

（1）貸借対照表

（単位：千円）

	2年度末	3年度末	4年度末	5年度末	6年度末
固定資産	9,714,043	10,005,832	10,586,122	9,744,026	9,863,132
流動資産	511,039	572,778	502,836	1,565,182	1,738,167
資産の部合計	10,225,082	10,578,610	11,088,959	11,309,209	11,601,300
固定負債	540	540	0	0	0
流動負債	249,737	232,199	279,137	261,559	281,612
負債の部合計	250,277	232,739	279,137	261,559	281,612
基本金	2,742,677	3,038,872	4,103,893	4,137,161	4,200,544
繰越収支差額	7,232,127	7,306,998	6,705,928	6,910,487	7,119,142
純資産の部合計	9,974,805	10,345,871	10,809,821	11,047,649	11,319,687
負債の部、純資産の部合計	10,225,082	10,578,610	11,088,959	11,309,209	11,601,300

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。

(2) 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
学生生徒等納付金収入	474,395	551,785	554,195	535,295	610,247
手数料収入	6,626	5,572	5,907	7,367	7,741
寄附金収入	0	100	0	0	0
補助金収入	42,042	47,124	58,370	52,956	60,573
資産売却収入	200,768	0	100,700	0	97
付随事業・収益事業収入	189,420	185,222	183,754	154,154	165,440
受取利息・配当金収入	47,248	56,180	59,564	73,242	69,389
雑収入	60,200	32,587	133,399	43,327	62,560
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	136,225	124,084	117,970	138,257	149,373
その他の収入	31,348	339,147	1,981,902	1,023,306	36,419
資金収入調整勘定	△145,396	△164,215	△279,519	△150,571	△201,666
前年度繰越支払資金	546,620	479,055	543,447	343,867	1,531,228
収入の部合計	1,589,498	1,656,644	3,459,689	2,221,202	2,491,404

支出の部	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
人件費支出	317,509	277,651	319,523	315,065	362,570
教育研究経費支出	94,932	117,500	130,391	128,493	146,957
管理経費支出	47,351	57,149	66,938	59,508	70,110
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	990	266,437	997,334	1,056	53,984
設備関係支出	18,543	27,278	30,334	34,129	35,841
資産運用支出	649,753	353,278	1,616,776	99,729	1,155,921
その他の支出	8,249	26,878	34,182	79,330	46,035
資金支出調整勘定	△26,887	△12,978	△79,650	△27,339	△49,265
翌年度繰越支払資金	479,055	543,447	343,867	1,531,228	669,247
支出の部合計	1,589,498	1,656,644	3,459,697	2,221,202	2,491,404

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。

(3) 事業活動収支計算書

(単位：千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
		学生生徒等納付金	474,395	551,785	554,195	535,295	610,247
		手数料	6,626	5,572	5,907	7,367	7,741
		寄付金	0	100	0	585	940
		經常費等補助金	39,522	44,002	54,620	46,335	50,071
		付随事業収入	9,420	15,222	13,754	14,154	15,440
		雑収入	60,200	32,587	133,939	43,327	62,560
		教育活動収入計	590,163	649,269	762,417	647,065	747,001
	事業活動支出の部	科 目					
		人件費	318,049	277,651	319,523	315,065	362,570
		教育研究経費	146,922	170,243	184,822	253,567	270,155
		管理経費	51,788	61,550	71,503	64,801	75,409
		徴収不能額	0	0	124	471	0
		教育活動支出計	516,760	509,445	575,973	633,907	708,135
教育活動収支差額		73,402	139,824	186,444	13,157	38,865	
教育活動外収支	収入	科 目					
		受取利息・配当金	47,248	56,180	59,564	73,242	66,276
		その他の教育活動外収入	180,000	170,000	170,000	140,000	150,000
		教育活動外収入計	227,248	226,180	229,564	213,242	216,276
	支出	科 目					
		借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額		227,248	226,180	229,564	213,242	216,276
	經常収支差額		300,651	366,005	416,008	226,400	255,142
特別収支	収入	科 目					
		資産売却差額	788	0	6,086	9,825	97
		その他の特別収入	5,911	5,061	41,855	14,812	20,986
		特別収入計	6,699	5,061	47,942	24,638	21,084
	支出	科 目					
		資産処分差額	6,080	0	0	13,211	4,188
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	6,080	0	0	13,211	4,188
特別収支差額		619	5,061	47,942	11,427	16,896	
基本金組入前当年度収支差額		204,455	261,007	463,950	237,827	272,038	
基本金組入額合計		△44,198	△3,433	△1,065,020	△40,177	△63,383	
当年度収支差額		160,256	257,574	△601,070	197,649	208,655	
前年度繰越収支差額		6,516,463	6,676,720	7,306,998	6,705,928	6,910,487	
基本金取崩額		0	0	0	6,909	0	
翌年度繰越収支差額		6,676,720	6,934,295	6,705,928	6,910,487	7,119,142	

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。

収益事業の概要

1. 事業の概要

(1) 令和6年度入校生・卒業生数等

【入校生数】

(単位：人)

学校別 車種		静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
普 通	M T	622	507	260	67	1,456
	A T	1,821	1,124	886	444	4,275
	二 種	334	159	89	0	582
大 型	一 種	151	0	246	0	397
	二 種	10	0	71	0	81
中 型	一 種	122	41	71	0	234
	二 種	0	0	0	0	0
準 中 型		55	38	80	0	173
大型特殊		16	27	31	0	74
け ん 引		51	0	42	0	93
自動二輪 ()内は AT限定の内数	大 型	163 (0)	115 (0)	116 (0)	15 (0)	409 (0)
	普 通	326 (0)	169 (2)	150 (1)	18 (3)	663 (6)
	普通限定	31 (22)	41 (21)	25 (13)	8 (5)	105 (61)
審 査	普 通	33	41	27	2	103
	中 型	26	16	26	0	68
	準中型	15	9	14	0	38
	二輪限定	6	5	5	0	16
	その他	0	0	10	0	10
()内は 合宿入校の内数	計	3,782 (512)	2,292 (353)	2,149 (372)	554 (427)	8,777 (1,664)
	前年度計	4,011 (532)	2,214 (343)	2,230 (387)	600 (462)	9,055 (1,724)
	前年度比	△229 (△20)	+ 78 (+10)	△81 (△15)	△46 (△35)	△278 (△60)

【卒業生数】

(単位：人)

学校別 車種		静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
普 通	M T	609	511	234	69	1,423
	A T	1,771	1,130	855	437	4,193
	二 種	336	152	90	0	578
大 型	一 種	162	0	251	0	413
	二 種	13	0	78	0	91
中 型	一 種	120	40	69	0	229
	二 種	0	0	0	0	0
準 中 型		55	38	67	0	160
大型特殊		16	28	30	0	74
け ん 引		53	0	43	0	96
自動二輪 ()内は AT限定の内数	大 型	172 (0)	117 (0)	99 (0)	15 (0)	403 (0)
	普 通	324 (0)	159 (2)	141 (1)	16 (3)	640 (6)
	普通限定	30 (22)	42 (21)	29 (14)	8 (5)	109 (62)
審 査	普 通	36	39	26	2	103
	中 型	27	17	24	0	68
	準中型	16	9	14	0	39
	二輪限定	7	5	4	0	16
	その他	0	0	12	0	12
()内は 合宿入校の内数	計	3,747 (513)	2,287 (361)	2,066 (374)	547 (419)	8,647 (1,667)
	前年度計	3,931 (531)	2,167 (337)	2,189 (377)	588 (453)	8,875 (1,698)
	前年度比	△184 (△18)	+ 120 (+24)	△123 (△3)	△41 (△34)	△228 (△31)

【高齢者講習受講者数】

(単位：人)

学校別	静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
令和6年度受講者数	7,268	4,071	2,379	1,341	15,059
前年度受講者数	6,135	4,181	2,244	1,089	13,649
前年度比増減	+1,133	△110	+135	+252	+1,410

【認知機能検査受検者数】

(単位：人)

学校別	静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
令和6年度受検者数	4,907	2,623	1,664	948	10,142
前年度受検者数	4,442	3,308	1,703	928	10,381
前年度比増減	+465	△685	△39	+20	△239

【取消処分者講習受講者数】

(単位：人)

学校別	静岡校	浜松校	沼津校	計
令和6年度受講者数	119	201	194	514
前年度受講者数	124	197	174	495
前年度比増減	△5	+4	+20	+19

【初心運転者講習受講者数】

(単位：人)

学校別	静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
令和6年度受講者数	46	24	54	0	124
前年度受講者数	37	24	41	0	102
前年度比増減	+9	±0	+13	±0	+22

【取得時講習受講者数】

(単位：人)

学校別 車種	静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
大型車講習	0	0	0	0	0
中型車講習	3	0	1	0	4
準中型車講習	12	4	10	0	26
普通車講習	7	6	18	0	31
大型二輪車講習	3	1	1	0	5
普通二輪車講習	13	3	5	0	21
大型旅客車講習	1	0	4	0	5
中型旅客車講習	0	0	0	0	0
普通旅客車講習	11	0	8	0	19
応急救護処置講習（一種）	19	10	22	0	51
応急救護処置講習（二種）	11	0	13	0	24
計	80	24	82	0	186
前年度受講者数	58	26	70	0	154
前年度比増減	+22	△2	+12	±0	+32

(2) 入校生数等の推移 (4 校合計)

(単位: 人)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
入校生数	9,355	9,091	9,216	9,055	8,777
卒業生数	9,159	8,957	8,929	8,875	8,647
高齢者講習	13,137	13,805	13,851	13,649	15,059
認知機能検査	6,482	7,171	9,409	10,381	10,142
取消処分者講習	652	566	586	495	514
初心運転者講習	123	128	115	102	124
取得時講習	187	188	177	154	162

(3) 事業計画に係る設備投資等の状況

令和 7 年度の設備投資等の額は、収益事業部門では 229,836 千円であり、主として静岡校の本館雨漏り防水改修工事であります。

【収益事業】

(金額単位: 円)

No.	事業名	品名	数量	金額	取得日
静岡校 1	校舎整備事業	本館雨漏り改修工事 一式 2 階全熱交換機・換気扇更新工事 一式 計	一式 一式	47,960,000 4,086,500 52,046,500	8/30 5/7
静岡校 2	教習コース整備事業	コース舗装工事 一式 マンホール蓋取り替え工事 一式 計	一式 一式	20,802,696 1,197,304 22,000,000	5/8 5/8
静岡校 3	教習車差替え事業	普通二輪教習車 12 台	12	12,326,320	5/16・ 5/24
静岡校 4	什器備品更新	教習システムジャーナルプリンタ更新	1	1,188,000	6/11
静岡校 6	交通教育センター 3 階 空調機差替え工事	エアコン差替え	1	795,300	4/30
静岡校 7	業務用 PC 差替え	ノート PC 2 台	2	442,200	6/13
静岡校 8	施設備品等修繕	21 教室アンプ・マイク交換 交通教育センター 2 階 B 教室空調差替え 交通教育センター外階段補修 計	一式 一式 一式	413,050 1,265,000 1,100,000 2,778,050	11/20 11/30 3/31
静岡校 9	雨漏り補修工事	防水補修工事 (第 2 期)	一式	37,180,000	3/31
静岡校 10	高齢者講習用軽自動車購入	軽自動車 2 台	2	3,280,000	1/29
静岡校合計				132,036,370	

浜松校 1	校舎整備事業	コース棟LED化工事 一式 受水槽修繕 一式 二輪車庫前カーポート設置・段差工事 計	一式 一式 一式	2,310,000 2,480,500 825,000 5,615,500	7/7 7/2 1/16
浜松校 2	教習車差替え事業	普通二輪教習車 3台	3	3,040,950	11/8
浜松校 3	什器備品更新	教習システムジャーナルプリンタ更新	1	1,056,000	6/11
浜松校 4	ドローン教習所開校準備	委託費用	一式	682,000	1/16
浜松校 5	業務用PC差替え	ノートPC 1台	1	247,280	4/2
浜松校 6	高齢者講習用軽自動車購入	軽自動車 2台	2	3,280,000	1/30
浜松校 7	雨漏り補修工事	防水補修工事	一式	484,000	11/21
浜松校合計				14,405,730	
沼津校 1	教習車差替え事業	普通二輪教習車 5台	5	5,068,250	4/18
沼津校 2	校舎整備事業	外周部フェンス差替え 一式	一式	4,235,000	5/29
沼津校 3	営業車差替え事業	中古軽自動車 1台	1	1,400,000	6/7
沼津校 4	什器備品更新	教習システムジャーナルプリンタ更新	8	1,056,000	6/21
沼津校 5	ドローン教習所開校準備	ドローンシミュレーター 委託費用 ドローン機体 付属備品等 計	5 一式 3 一式	1,138,500 1,232,000 904,200 421,080 3,695,780	7/20 7/20 6/14 6/14
沼津校 6	非常用放送設備差替え工事	非常用放送設備	一式	1,210,000	10/17
沼津校 7	高齢者講習用軽自動車購入	軽自動車 2台	2	3,280,000	1/30
沼津校 8	証明写真システム差替え	証明写真システム一式	一式	291,500	4/6
沼津校合計				20,236,530	
松崎校 1	普通二種鋭角コース新設工事	普通二種鋭角コース新設工事	一式	3,575,000	6/5
松崎校 2	WiFi環境構築工事	WiFi環境構築工事	一式	1,042,800	7/3
松崎校 3	視力検査機差替え	視力検査機	1	830,500	9/21
松崎校 4	照明灯差替え工事	LED交換工事	一式	313,500	1/22
松崎校合計				5,761,800	
教習事業部 2	オンライン受付業務システム構築	開発費用 一式	一式	24,396,000	
教習事業部合計				24,396,000	
総務室 1	受変電設備更新	キュービクル等差替え工事 一式	一式	32,153,000	1/4
総務室 2	非難具更新工事	器具交換工事	一式	847,000	10/30
総務室合計				33,000,000	
収益合計				229,836,430	

(4) 事業所別設備の状況

令和7年3月31日現在における各事業所の設備、投下資本は次のとおりであります。

【収益事業】

事業所名	土地		建物		構築物 (円)	機械装置 (円)	什器備品 (円)	車両 (円)	投下資本合計 (円)
	面積(㎡)	金額(円)	面積(㎡)	金額(円)					
静岡校	18,362.50 (373.67)	174,546,872	2,802.99	284,543,828	36,177,817	4,088,620	6,253,921	8,612,740	514,223,798
浜松校	13,728.69 (458.13)	75,388,009	1901.28	169,870,201	20,787,556	6	1,292,028	5,905,109	273,242,909
沼津校	13,264.06 (7,767.00)	810,260,269	2557.93	126,269,110	21,708,088	1,278,906	1,445,224	12,297,946	973,259,543
松崎校	2,136.76 (9,338.73)	35,443,050	933.52	26,892,807	5,649,219	2,033,003	1,952,319	40	71,970,438
総務室 教習事業部	0	0	916.84	34,190,272	145,607	0	242,987	5	34,578,871
計	47,492.01 (17,937.53)	1,095,638,200	9112.56	641,766,218	84,468,287	7,400,535	11,186,479	26,815,840	1,867,275,559

(注) 1 投下資本は有形固定資産の帳簿価格であります。

2 土地の面積欄中 () 書は賃借中のものであり、内数ではありません。

2. 財務の概要（過去5年間の状況）

（1）貸借対照表

（単位：千円）

	2年度末	3年度末	4年度末	5年度末	6年度末
流動資産	3,096,488	3,208,605	3,396,920	3,415,476	3,400,425
固定資産	1,748,087	1,707,294	1,721,361	1,818,306	1,896,744
繰延資産	0	0	0	0	0
資産の部合計	4,844,576	4,915,900	5,118,281	5,233,782	5,297,169
流動負債	370,442	342,800	427,971	428,773	389,975
固定負債	0	0	0	0	0
負債の部合計	370,442	342,800	427,971	428,773	389,975
純資産の部合計	4,474,134	4,573,100	4,690,310	4,805,009	4,907,193
負債・純資産合計	4,844,576	4,915,900	5,118,281	5,233,782	5,297,169

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。

（2）損益計算書

（単位：千円）

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
営業収益	2,190,519	2,176,019	2,224,486	2,281,494	2,289,726
営業費用	1,835,968	1,880,368	1,891,603	1,989,996	2,007,645
営業利益	354,550	295,650	332,882	291,497	282,080
営業外損益	18,273	20,114	20,414	19,561	16,695
経常利益	372,823	315,764	353,296	311,059	298,776
特別損益	△17,207	573	△13,491	△10,902	830
寄附繰出前当年度利益	355,615	316,338	339,804	300,157	299,606
寄附繰出額	180,000	170,000	170,000	140,000	150,000
法人税等充当額	54,402	47,372	52,595	45,457	47,132
当年度利益	121,212	98,966	117,209	114,699	102,474

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。